

アジアコスモポリタン賞受賞記念 奈良フォーラム2019

2019年1月10日～11日に、アジアコスモポリタン賞の受賞を記念する「アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム2019」が開催された。本賞は、東アジア域内における文化面・経済面での地域統合、域内の格差是正、持続可能な成長社会形成等の点で優れた貢献が認められた個人・団体に対し、東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）が贈呈する国際賞であり、今回のフォーラムは、第4回受賞を記念して開催され、4名1団体が受賞した。

大賞：福田 康夫 元日本国内閣総理大臣

経済・社会科学賞：リチャード E. ボールドウィン ジュネーブ高等国際問題開発研究所国際経済学教授

文化賞：チームラボ アート集団

ノグチ ミエコ ガラスアーティスト

メモラブル賞(特別賞)：故スリン・ピッサワン 元ASEAN事務総長

【1月10日】

■ 開式

オープニングアトラクションとして、胡弓と箏の演奏ユニット、生糸 (ki-ito) により「桜花幻耀(おうかげんよう)・「焰(ほむら)」の2曲が祝いの意を込めて演奏され、その華やかで力強い音色が会場内に響き渡った。

続いて、ERIA事務総長の西村英俊氏より開会の挨拶として、本賞の趣旨とともに、「アジアが世界の発展の中心となり、そのアジアでコスモポリタンとして活躍するという“アジアコスモポリタン”の精神が、この奈良の地からより一層広まっていくと確信している」と述べられた。

また、授賞式とフォーラムの開催に際して国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所代表の本保芳明氏より祝辞が述べられ、「フォーラムを通じて、奈良の国際性をさらに高めていただきたい」とのメッセージが語られた。

■ 授賞式

第4回受賞者の4名1団体は、東アジアの16カ国を代表する経済・政策研究機関からなる推薦委員によって候補者として推薦された人物・団体であり、選考委員による選考を経て授賞が決定された。壇上では、各受賞者への正賞として吉野杉材を使用した盾と「コスモポリタン」をイメージした透明感のあるトロフィーが贈られ、副賞として奈良県の伝統工芸品である赤膚焼の燈火器が贈呈された。

大賞を受賞した福田康夫氏は「今回の受賞は、私の考えに共鳴してくださった皆様と、多くの方々のご協力のおかげ。全く私だけが受賞したのではなく、皆様方の受賞であると考えている」と喜びを語った。また、経済・社会科学賞を受賞したリチャード E. ボールドウィン氏は「ここ数十年のアジアの発展はめざましく、特筆すべきは、経済の進展と同時に、経済統合が平和的に、より深くなされている点である」と述べた。また、文化賞を受賞したチームラボの猪子寿之氏は「境界なく連続的であることの美しさをつくり、世界と自分との境界をなくし、人々の価値観を広げる我々の試みが評価され大変名誉である」と述べ、同じく文化賞を受賞したノグチミエコ氏は「世界を俯瞰して見ていくという私のアートの世界観を、作品を通じて皆さんに共感いただき、共存していけるような感覚になっていただけたら嬉しい」と述べた。そして、メモラブル賞を受賞した故スリン・ピッサワン氏のご子息フアディ・ピッサワン氏からは「父が生涯をかけた取り組みとその情熱が認められたことを大変嬉しく思う。私なりに父が成し遂げてきたことに貢献していきたい」と感謝の意が述べられた。

■ 受賞記念フォーラム

主催者である奈良県を代表し、荒井正吾知事より「本賞の授賞式を奈良県で開催できることは名誉なことであり、第4回を迎えられたことに感謝申し上げます。今後、さらなる奈良の発展により、より多くの方々に長く奈良に滞在いただきたい」と挨拶の言葉が述べられた。続いて、ASEAN事務総長のリム・ジョク・ホイ氏が「持続可能なパートナーシップを通じてつながるASEANとその先」と題して基調講演を行い、「ASEAN共同体の関係をより緊密にすることで対話国等のパートナーとWin-Winの関係を築くとともに、持続可能な社会経済の成長と開発を進めていきたい」と語った。

■ 受賞記念講演

大賞を受賞した福田康夫氏が「アジアに生きる日本」と題し、アジア経済の世界における比重はますます大きくなり、今後の国際社会においてアジアの責任が格段に大きくなることを銘記しなければならないと語った。

次に、経済・社会科学賞を受賞したリチャード E. ボールドウィン氏が「グローバリゼーション、ロボット、そして未来の仕事」と題して、デジタル技術がグローバリゼーションとロボット化を通して、いかに将来の働き方を変えていくかについて語った。

また、文化賞を受賞したチームラボの猪子寿之氏とノグチミエコ氏の対談では、「ミクロコスモス・マクロコスモス—心と宇宙の連結性」と題し、映像を交えながら、それぞれの制作活動や作品に込める想いについて語った。

【1月11日】

■ 教育プログラム (受賞者による特別講義)

学生を対象とした受賞者による「特別講義」が県内二つの大学で行われた。経済・社会科学賞のリチャード E. ボールドウィン氏が奈良女子大学で「ITと新たなグローバリゼーション: グローバリゼーションの影響がこれほど異なるのはなぜか?」をテーマに、また、文化賞のチームラボが奈良県立大学で「DIGITAL ART by teamLab」と題して講義を行い、それぞれ集まった学生等参加者が見識を深めた。